

プロジェクト一覧

番号	プロジェクト	ページ
2	工場誘致・工業ゾーンの創出 の一部	1
4	漢方のメッカ推進プロジェクト	2
5	県産品の海外販路、国内販路の拡大 の一部	3
10	ホテル誘致 の一部	4
11	奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興	5
13	奈良公園中枢地プロジェクト(文化ゾーンの魅力向上と公園内の環境整備) の一部	6
15	平城宮跡歴史公園の整備	7
17	自転車の周遊環境整備と安全利用 の一部	8
19	海外・東京プロモーションの展開 の一部	9
20	大規模広域防災拠点の整備	10
25	なら四季彩の庭づくりの推進 の一部	11
29	土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用の実現 の一部	12
40	アンカールート国道168号の整備 の一部	13
44	奈良県の新しい道路整備の仕組 の一部	14
45	円滑な用地買収・用地補償	15
46	大和西大寺駅の高架化・近鉄奈良線の移設	16
47	J R新駅の設置と鉄道高架化	17
48	リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線	18
58	県立医大の移転、医大病院施設・新外来棟の整備	19
59	西和医療センターの移転・再整備の検討	20
64	奈良県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けての検討	21
65	まほろば健康パークの機能強化	22
66	(仮称)奈良県立工科大学の設置推進、奈良県立大学の教育充実 の一部	23
73	文化の振興 の一部	24
74	文化観光推進・歴史追体験 なら記紀・万葉プロジェクトの継続展開 の一部	25
77	なら歴史芸術文化村の活用	26
78	国際交流の強化・拡大と東アジア地方政府会合の充実発展	27
79	農地マネジメントの推進・特定農業振興ゾーンの整備 の一部	28
80	中央卸売市場の再整備	29
81	NAFIC教育の充実と周辺の整備	30
85	みつえ高原牧場の整備	31
91	大和平野中央田園都市構想の推進	32
96	奈良県総合医療センター跡地のまちづくり	33
97	県域水道ファシリティ・マネジメント	34
99	市町村財政健全化・財政支援の検討 の一部	35
100	県庁版「良い人材が集まり、育つ」職場の実現 の一部	36

I 栄える「都」をつくる 1 地域経済活性化

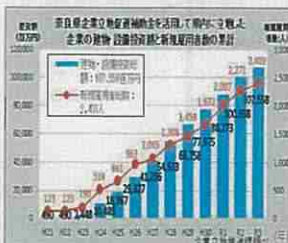
(2) 工場誘致・工業ゾーンの創出

R5 予算案 2,125,417千円
債務負担行為 3,200,000千円

ここまで良くなりました

平成19年以降、県が5,000社を超過企業訪問を続けるなどした結果、過去15年の工場立地件数は424件となり、工場立地件数は順調に伸びています。

令和3年までの県の補助金を活用された企業の総投資額は1,070億円を超え、新規雇用者数は2,403人となりました。



工場進出の勢が続いている一方、県内の産業用地が不足してきています。工業ゾーンの創出にはまとまった用地の迅速な確保が必要です。

もっと良くするために

令和5年から令和8年までの4年間で120件の工場立地件数を目標とします。

○県内に工場等を立地する企業に補助
○商談会の実施、企業立地フェアへの出展等による効果的な誘致活動を展開

奈良県企業がグローバルなサプライチェーンの一端を担えるよう、戦略的、効果的な工場誘致活動を展開します。

○企業を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、「国内回帰等立地促進補助金」を創設



奈良県企業立地セミナー2022 奈良県

市町村と連携・協働した新たな産業用地創出事業に取り組みます。

○実現可能性調査や基本計画等の策定を行う市町村に対し補助

中南和・東部に新たな工業ゾーンを形成します。

○(仮称)御所IC工業団地を整備
○東部の産業用地創出を検討(名阪国道沿い)



(仮称)御所IC工業団地 (e-1 特別団地) 日本立地センター

令和5年度予算案 2,125百万円
[債務負担行為3,200百万円]

1. 誘致活動の強化 (1,018,207千円、R6~9債務負担行為 3,200,000千円)

(1) 企業立地促進補助 (1,000,000千円、R6~9債務負担行為 3,200,000千円)

工場、研究所等の新たな立地又は機能強化を行う企業に対し補助

- ① **新** 国内回帰等立地促進補助金
 - ② 企業立地促進補助金
 - ③ 企業定着促進補助金
 - ④ **新** データセンター立地促進補助金
 - ⑤ 地方拠点強化促進補助金
- ①②について **新** 働きやすい職場づくりに関する認証制度の取得に対し最大1百万円を加算



企業誘致活動の様子(企業立地セミナー)

(2) **新** 企業誘致営業力の強化 (18,207千円)

⑥ 企業が集まるフェアへの参加、大阪での商談会の開催 等

2. 産業用地の創出 (1,107,210千円)

(1) 市町村における産業用地創出の支援 (25,810千円)

- ⑦ 企業立地の潜在力が高い候補地において、産業用地の創出を目指す市町村への支援
 - ・実現可能性調査
 - ・基本計画の策定
- ⑧ 産業用地を創出する市町村に対し、アドバイザーを派遣

(2) (仮称)御所IC工業団地の整備 (1,081,400千円)

- ⑨ 京奈和自動車道御所IC周辺において、中南和地域の通勤圏内での雇用機会を創出する工業団地を整備
 - ・第1期企業募集の開始
 - ・埋蔵文化財調査、用地買戻し 等



(仮称)御所IC工業団地

I 栄える「都」をつくる 1 地域経済活性化 (4) 漢方のメッカ推進プロジェクト

R5 予算案 37,271千円

ここまで良くなりました

平成24年から漢方のメッカ推進プロジェクトを開始し、漢方の産業化を目指してきました。

令和元年の生薬・漢方製剤製造業の製造品出荷額等は137億円となっており、順調に伸びています。

○医薬部外品についてはドリンク剤5品目、化粧品、食品や日用品などの漢方関連商品84品目も開発され、販売中

○医薬品については10商品を民間企業と共同開発



大和ウキ含有ドリンク剤

○商品の原料となる薬用作物の栽培面積が増加
R2年: 1,740a(H23年:1,644a)
<最重点作物である大和トウキの栽培面積>
R2年: 315a(H23年:49a)



大和トウキの葉

大和トウキの根

もっと良くするために

事業者のニーズに沿った、薬用作物の生産を増やします。

○研究成果を活用した技術実証圃の設置
○安定生産等の課題を解決する栽培研究



技術実証圃の設置

生産者交流会の開催

県産薬用作物のブランド化のための研究を推進します。

○薬用作物の新たな含有成分の調査、動物実験等による科学的検証

薬用作物を使用した商品を製造するための支援を推進します。

○消費者ニーズの高い生薬製剤等の開発
○薬用作物を使用した食品等の普及、機能性成分の効果的な活用方法のための研究

薬用作物を使用した商品の販路開拓を強化します。

○大規模見本市への出展や消費者向け販売会の開催



見本市への出展

販売会の開催

漢方薬等の認知度向上のための取組を推進します。

○漢方の魅力発信



動画配信

ファームトリップの実施

令和5年度予算案 37百万円

1. 生産から販売までの一貫的な取組

生産の振興



ステージ1
生薬の供給拡大



薬草栽培研究

薬効の研究



ステージ2
漢方薬等の研究・臨床



漢方外来

漢方派生品等の製品化



ステージ3
漢方薬等の製造



マッチング推進

海外消費者への販路拡大



ステージ4
漢方薬等の販売促進



バイヤーとのマッチング

各種イベントへの出展



ステージ5
漢方の普及



セミナー等の開催

2. 各ステージの取組

(1) 薬用作物の栽培者への支援 (7,134千円)

- ①研究成果を活用した技術実証圃の設置
- ②安定生産等に向けた栽培方法の研究

(2) 薬用作物の研究・臨床 (4,212千円)

- ③薬用作物の新たな含有成分の調査・科学的検証

(3) 薬用作物を使用した商品の開発 (12,567千円)

- ④消費者ニーズの高い生薬製剤等の開発
- ⑤薬用作物を使用した食品等の普及、機能性成分の効果的な活用のための研究



ヤマトウキの実証圃



薬事研究センターでの調査研究

(4) 薬用作物を使用した商品の販路開拓支援 (6,486千円)

- ⑥大規模見本市への出展や販売会の開催



薬用作物を使用した製品
(左:うどん 中:コーヒー 右:シロップ)

(5) 漢方薬等の認知度向上 (6,872千円)

- ⑦ **新**漢方の魅力を発信する旅行商品造成のためのファームトリップの実施

I 栄える「都」をつくる 1 地域経済活性化

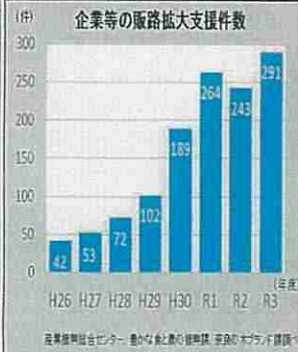
(5) 県産品の海外販路、国内販路の拡大

R5 予算案 325,941千円

ここまで良くなりました

海外・国内での展示会・商談会などのプロモーション活動を通して、県内企業の販路拡大支援に努めてきました。

コロナ禍による社会の急速なデジタル化に伴い、EC(電子取引)市場規模が急拡大するなか、ECを活用した販路開拓・拡大支援を実施しました。



インドネシアの商業施設での展示会



東京インターナショナルギフトショー

ECセミナーの実施

もっと良くするために

デジタルを活用した販路開拓・拡大を目指す企業を支援することにより、県内企業の稼ぐ力の向上を図ります。

首都圏等における展示会への出展や県産品のPR等を継続実施するとともに、奈良まほろば館を活用したプロモーション等を実施します。

○セミナー等を通じEC市場での販路拡大を支援



ECセミナーやワークショップ

海外に対しては、ポストコロナを見据え、県産品の魅力を積極的に発信します。

○海外のセレクトショップでテストマーケティングを行い、現地の嗜好にあった商品にブラッシュアップ



フランス・パリのセレクトショップ「Maison Waj」でのテストマーケティング(イメージ)

○首都圏での展示会・商談会



展示会での奈良の木PR

奈良イデック、商品大賞展

○奈良まほろば館でのテストマーケティング等



テストマーケティング(広えない奈良のこだわりフェア)

木のPRイベント

令和5年度予算案 326百万円

1. 海外への販路拡大 (289,260千円)

- ① **ジェットロ奈良貿易情報センターと連携した支援**
- ② 大規模商談会の奈良県ブースの出展、小売店での販売会
- ③ 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設の整備を支援
- ④ **新** **フランス・パリのセレクトショップにおいて県内企業による県産品のテストマーケティングを支援**
- ⑤ 海外展開分野のリーディングカンパニーの表彰・PR

インドネシアでの奈良県ブースの出店



フランス・パリのセレクトショップテストマーケティングイメージ

2. 首都圏等への販路拡大 (36,681千円)

- ⑥ 首都圏での奈良の食のPR強化
県産食品の掘り起こし、テストマーケティング及びブラッシュアップ、奈良の食の知名度向上
- ⑦ 首都圏における県農産物のセールス活動
- ⑧ 県産材の建築関係者等へのセールス、PRイベント等
- ⑨ **新** 県産材の市場環境の変化へ適応するためのマーケティング分析
- ⑩ 東京国際ギフトショーへの出展支援
首都圏でのバイヤー発掘、商談後のフォローアップ
- ⑪ **EC** **トップランナー事業者の育成、デジタルマーケティングセミナー等**



首都圏での県農産物のセールス



県産木材のPRイベント



東京国際ギフトショー(2022)奈良県ブース



デジタルマーケティングセミナー

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着 (10) ホテル誘致

R5 予算案 157,814千円
債務負担行為 500,000千円

ここまで良くなりました

滞在型観光をより一層促進するため、令和7年度までに宿泊客室数を12,000室にする目標を設定しました。目標達成に向け、令和3年度に「奈良県宿泊施設立地促進事業補助金」を創設し、2件の事業計画を認定しました。



○近年オープンしたホテル例



もっと良くするために

観光地競争に打ち勝つには、滞在型観光を促進するため**宿泊客室数**をもっと増やすこと、多様なニーズに応える**ホテルのバリエーション**を持つこと、観光地奈良のブランド力を上げる**上質なホテル**も用意することが必要です。

○商談会の実施、宿泊施設立地検討企業に対する調査の実施、宿泊施設立地コンシェルジュの設置等による効果的な誘致活動を展開

○宿泊施設の新たな立地等に対する支援

- ・宿泊施設立地促進事業補助金
- ・創業支援資金(宿泊施設認定件)
- ・既存事業者による宿泊施設開業支援資金
- ・宿泊施設増改築・設備整備支援資金
- ・事業税・不動産取得税の軽減

○宿泊施設の整備を支援



令和5年度予算案 158百万円 [債務負担行為 500百万円]

1. 宿泊施設の立地促進に向けた支援 (50,000千円、R6～10債務負担行為 500,000千円)

① 宿泊施設の新設等に対する補助

- ・客室数30室以上または収容人員100人以上
- ・投資額5億円以上 (南部・東部地域は3億円以上)
- ・補助率:投資額の5% (上限:2億円または1億円)



東横INN天理駅前ビル(仮称)
(令和5年10月 開業予定)
(イメージ)

② 事業税・不動産取得税の軽減

3. 国の「総合特区支援利子補給金制度」への 上乘せ支援 (71,892千円)

④ 奈良公園観光地域活性化総合特区内における 宿泊施設の新設等に対する**利子補給補助**



旧奈良監獄ホテルの整備支援(令和7年度中開業予定)(イメージ)

2. 融資制度を利用する宿泊施設事業者への支援 (17,715千円)

③ 「奈良の宿泊施設育成支援資金」(制度融資)を利用した宿泊施設事業者に対する**利子補給補助**



翠門亭-SUIMONTEI(令和4年4月 開業)

4. **新** 宿泊施設誘致営業力を強化 (18,207千円)

⑤ 宿泊事業者等を対象に、**東京で商談会を開催** **宿泊施設立地コンシェルジュの設置**



企業立地セミナーin東京での商談会

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着

(11) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

R5 予算案 188,673千円

ここまで良くなってきました

「第7回UNWTOガストロミーツリズム世界フォーラム」を開催しました。ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、大規模国際会議などの誘致活動を継続的に進めています。

コンベンションセンターを拠点とした誘客促進をより一層強化するため、年間を通じて、天平広場を中心に賑わいを生み出すイベントを開催しました。

○大規模会議の開催



ガストロミーツリズム世界フォーラム(日本初)



全国知事会議(奈良県初)

○誘客を図るイベントを開催



光と遊びの天平広場

もっと良くなるために

国内外のMICE商談会に積極的に出展し、奈良らしさを感じられる会場・エクスカーション等を提案します。また、コンベンション開催地としての魅力の向上と情報発信を強化します。

賑わいが根付くよう、コンベンション施設運営の関係事業者や県内市町村等と連携して、賑わいイベントを継続して開催・誘致し、コンベンションセンターを奈良の魅力を発信する拠点としていきます。

○大規模国際会議などの開催誘致を推進



MICE商談会・見本市への出展

○周遊観光の拠点となる賑わいを創出



催祭的イベントを開催

令和5年度予算案 189百万円

1. コンベンション施設の運営 (151,556千円)

- ①SPCによる施設運営
- ②国際会議や医学学会等MICEの誘致など



医学学会の様子

2. 賑わいの創出、MICEの誘致推進 (37,117千円)

(1) 賑わいの創出 (17,000千円)

- ③季節感を演出した各種イベント
 - ・天平広場に樹脂製スケートリンクを設置
 - ・煌びやかなイルミネーション など



天平広場スケートリンク



光と遊びの天平広場・冬

(2) 「MICE誘致力」の向上 (4,213千円)

- ④ビジターズビューローと連携した大学への誘致活動、学会の誘致
- ⑤奈良を代表する施設、企業等と連携したユニークベニュー(寺社等での会議・レセプション)の開発
- ⑥県内MICE事業者に向けたセミナー、意見交換会



誘致活動



ユニークベニュー会場
(奈良春日野国際フォーラム庭園)

(3) 大規模MICEの誘致推進 (4,980千円)

- ⑦国内外のMICE商談会、見本市への出展によるPR
- ⑧大規模国際会議の誘致



UNWTOガストロミーツリズム世界フォーラム
(奈良県コンベンションセンター)



Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり

(13) 奈良公園中枢地プロジェクト

(文化ゾーンの魅力向上と公園内の環境整備)

R5 予算案 1,281,249千円
債務負担行為 15,683,000千円

ここまで良くなってきました

奈良公園内における文化の展示力向上と環境整備のためのプロジェクトについて、奈良県文化振興戦略懇話会の意見を参考に、部局横断的に取り組んでいます。

奈良公園内における文化の展示力向上

○(仮称)奈良公園に関する高度な案内書の編纂と活用(編纂委員会の立ち上げ(R4年10月))



○奈良県文化会館のリニューアル実施設計(R4年度)



奈良公園内の環境整備

○奈良公園の水環境の改善(雑池への導水実験の実施)



○奈良公園バスターミナル(BT)と東大寺を結ぶ新たな観光ルート整備



○奈良公園BTの運営改善のため、平城宮跡前駐車場を駐車場として有効活用



○奈良公園周辺地区のホテル整備



○ぐるっとバスを大宮通り、奈良公園、若草山ルートで3路線で運行



○奈良公園をゆっくり楽しんでいただけるよう「ウイズコロナ」でイベント展開



もっと良くするために

奈良公園内における文化の展示力向上と環境整備に向けた取組を推進し、奈良公園の更なる魅力向上を図ります。

奈良公園内における文化の展示力向上

ハード・ソフトの両面から、奈良公園内における文化の展示力向上に向けた取組を推進

○(仮称)奈良公園に関する高度な案内書の編纂と活用



○文化会館・美術館の周辺環境整備のための構想策定



○奈良県文化会館の整備 R8年度中にリニューアルオープン予定



○県立美術館の整備に向けた登大路瓦窯跡の活用検討



奈良公園内の環境整備

奈良公園の風情に調和した宿泊施設の整備を促進

○R5年夏の新たな宿泊施設のオープンにあわせて、吉城園周辺の整備を進め、魅力スポットを創出

○R7年度中にホテル運営開始予定の旧奈良監獄ホテルの整備を支援

奈良公園の水環境を改善

○猿沢池への導水の本格運用、雑池の浚渫等による水質改善

奈良公園のアメニティ向上

○奈良のシカ保護・管理、植栽整備、春日山原始林の保全

奈良公園周辺の交通改善

○奈良公園BT、県営駐車場の運営

○奈良中心市街地の渋滞対策のため、ぐるっとバスの運行、パークアンドバスライド等を実施

○四季を通じて楽しめるよう、魅力的なイベントにより、奈良公園BTをはじめ奈良公園エリアにぎわいを創出



令和5年度予算案 1,281,249千円
【債務負担行為 15,683,000千円】

1. 奈良公園の魅力向上 (661,316千円)

(1) 風情に調和した宿泊施設の整備促進 (224,551千円)

・吉城園周辺地区整備

①園地等周辺整備(吉城園宿泊施設 R5夏オープン)

・旧奈良監獄ホテルの整備支援

- ②耐震改修への支援
- ③奈良市と連携しゲートウェイとなる沿道整備
- ④国の「総合特区支援利子補給金」への上乘せ支援



吉城園宿泊施設の整備イメージ



旧奈良監獄ホテルのイメージ
(法務省より提供)

(2) アメニティ向上 (305,165千円)

- ⑤奈良のシカ保護・管理、植栽整備、春日山原始林の保全
- ⑥奈良公園BTでの情報発信、賑わい創出イベント実施
- ⑦鹿苑整備



奈良公園BTにおける音楽イベント

(3) 水環境の改善 (131,600千円)

- ⑧猿沢池への導水の本格運用
- ⑨鷺池の浚渫等による水質改善



猿沢池 導水実験実施による変化

2. 文化の展示力向上 (37,186千円、R6~8債務負担行為 15,683,000千円)

(1) 文化会館の整備 (12,786千円、R6~8債務負担行為 15,683,000千円)

⑩耐震改築・小ホール新築等

→ リニューアルオープン: R8



奈良県文化会館の整備イメージ

(2) 奈良公園内における文化の展示力向上 (24,400千円)

- ⑪「(仮称)奈良公園に関する高度な案内書」の編纂と活用
- ⑫新文化会館・美術館の周辺環境整備のための構想策定
- ⑬新県立美術館の整備に向けた登大路瓦窯跡の活用検討

3. 奈良公園周辺の交通改善 (582,747千円)

(1) 奈良公園バスターミナル等の運営 (355,447千円)

⑭奈良公園BT、県営駐車場の運営

(2) 奈良中心市街地の渋滞対策 (227,300千円)

⑮ぐるっとバスの運行、パークアンドバスライド等の実施



奈良めぐり平城宮跡前駐車場



ぐるっとバス

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (15) 平城宮跡歴史公園の整備

R5 予算案 525,969千円
債務負担行為 468,670千円

ここまで良くなりました

朱雀門ひろばに続いて、第一次大極殿院大極門(南門)が令和4年3月に完成しました。朱雀大路東側及び平城宮跡南側においては朱雀門ひろばと一体感のある公園整備を進めています。



朱雀大路東側「歴史体験学習館」

OR2年12月に整備計画を策定し、体験・交流内容等のコンテンツや整備施設に関する基本計画を検討

平城宮跡南側

OR2年度に新規事業化及びR2年12月に基本計画を策定し、R4年度末の整備計画策定に向け、整備方針や導入機能について検討



もっと良くなるために

第一次大極殿院の復原は、奈良時代に今に感じる空間の創出を目指します。

○「南門」に続き「東楼」の整備促進を図るに要望



東側の「歴史体験学習館」は令和8年度の完成を目指します。

○迫力ある映像や新技術を活用した奈良時代の歴史をリアルに体験できる「歴史体験学習館」を整備



南側は令和7年度の完成を目指します。

○平城京のスケールを実感し住時の姿をイメージできる歴史空間や人々が憩いつづける空間を創出するため、オープンスペースを確保し、屋根付き広場、展望デッキ、便益施設、遊具等の整備を推進



一層のにぎわいと誘客促進に向けて、魅力ある催しを実施します。

○季節ごとの魅力あるイベント(天平祭春・夏・秋)に加え、年間を通した賑わいを創出



令和5年度予算案 526百万円 [債務負担行為 469百万円]

1. 朱雀大路東側・平城宮跡南側の整備 (390,969千円、R6債務負担行為 468,670千円)

(1) 朱雀大路東側の整備 (265,132千円)

※令和8年度の完成を目指す

- 歴史体験学習館整備に向けた文化財発掘調査等
 - 文化財発掘調査、ボーリング調査
 - 遺産影響評価(HIA)の実施
 - 施設整備に係る民間事業者選定手続き等

②事業用地の取得

「歴史体験エリア」



コンテンツイメージ

「文化体験エリア」

「宝物体験エリア」
外観は正倉院を意匠化



(2) 平城宮跡南側の整備 (125,837千円、R6債務負担行為 468,670千円)

※令和7年度の完成を目指す

③施設設計等

- 南側エリアの公園施設等設計
- 文化財発掘調査、ボーリング調査
- 便益施設(カフェ等)への民間活力の導入に向けた検討等



展望デッキからの眺望のイメージ



計画平面図案

2. 平城宮跡におけるにぎわい創出 (135,000千円)

④平城宮跡への誘客促進イベント

- 平城京天平祭(春) 天平行列、こども行列 ほか
- 天平たなばた祭り(夏) 光と灯りの演出、七夕行列 ほか
- みつきうまし祭り(秋) 古代行事の再現、花の展示 ほか
- 新古代行事の再現(秋)、
遣唐使船前広場のイルミネーションの設置(冬)



天平たなばた祭り(夏)



みつきうまし祭り(秋)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (17) 自転車の周遊環境整備と安全利用

R5 予算案 258,750千円

ここまで良くなってきました

令和3年4月に京奈和自転車道(京都嵐山～奈良～和歌山港 総延長約180km)が
つながら、利用者が2割増加しました。



もっと良くするために

自転車利用ネットワークの構築を図ります。

- 世界遺産周遊サイクルルートのうち、古都奈良エリア、法隆寺エリア、飛鳥藤原エリアで案内誘導サイン等の工事を推進
- HPやSNSを活用し、サイクルルートの魅力を発信



引き続き、「奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」のもと自転車を安心して利用できる奈良県を目指します。

- 保険加入義務やヘルメット着用の必要性等についてイベント実施等により広報啓発を行うとともに、交通安全教育を実施

令和5年度予算案 259百万円

奈良県自転車利用啓発デザイン

1. 自転車利用ネットワークの構築等 (256,200千円)

(1) 「世界遺産周遊サイクルルート」等の整備

- ① 案内誘導サイン・路面標示等の工事

(2) 情報発信の充実、官民連携の推進

- ② HPやSNSを活用し、サイクルルートの魅力を発信
- ③ 休憩所や駐車場、宿泊施設等との官民連携の推進



2. 自転車の安全で適正な利用の促進 (2,550千円)

- ④ 自転車乗用時のヘルメット着用努力義務等の啓発・SNSによる情報発信

- ⑤ (新) 未就学児等に対する交通安全教室



Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 魅力向上・発信 (19) 海外・東京プロモーションの展開

R5 予算案 271,975千円
R4・2月補正予算案 80,000千円

ここまで良くなりました

海外に対し、今後のインバウンド再開を見据え、SNSや海外旅行博への出展等により、本県の魅力を継続して積極的に発信しています。

○海外の個人観光客やメディア等に対する情報発信



首都圏における県の魅力の認知度及びブランド力の向上を図るため、「奈良まほろば館」を令和3年8月に移転リニューアルし、観光・食・特産品等の情報発信や、新商品の発掘等に取り組んでいます。

○首都圏等からの誘客を図るため、市町村や交通事業者等と連携したプロモーション(「壬申の乱1350年」をテーマとした周遊キャンペーン等)を展開



もっと良くするために

海外に対して、インバウンドの本格的な再開と2025年大阪・関西万博の開催や2037年予定のリニア開通を見据え、積極的に海外プロモーションを展開するとともに、JNTO等政府機関等と連携し、情報発信を強力に推進します。

○海外での積極的な情報発信



令和5年度予算案 272百万円
令和4年度2月補正予算案 80百万円

国内に対して、市町村・交通事業者等と連携して歴史の催事の活用やガストロ/ミーツーリズムの積極的な展開により、万博以降も見据えた誘客促進に取り組めます。

○ガストロ/ミー等を活用した観光誘客



首都圏では、「奈良まほろば館」を活用し、食や県産品等の魅力を活かしながら、県の認知度及びブランド力を向上することにより誘客促進を図ります。

奈良まほろば館での取組
・TOIやCafe&Barを活用した食のPR
・まほろばチャレンジリーグ
・市町村や社等による講演会
などにより本県の多様な魅力を発信

奈良まほろば館での食のPRイベント

1. 海外向けプロモーションの強化による インバウンド誘客の推進 (50,588千円、R4・2月補正 80,000千円)

- ① 欧米豪市場への奈良の魅力発信
- ② インバウンド観光客向けSNSの活用・HP整備
- ③ 新インバウンドの本格的再開や2025年大阪・関西万博に向け、「万博には奈良に泊まって行く」を基本としたプロモーションを展開



- ④ 新歴史文化や社寺等の本県の強みを活かし、外国人観光客向けに新規性の高い、特別な体験型コンテンツ造成・イベント開催



2. 「奈良まほろば館」での魅力発信 (18,387千円)

- ⑤ 奈良まほろば館でのイベントや講座等



3. 奈良の魅力の一層の発信と周遊・滞在型 観光の推進 (183,000千円)

- ⑥ JR等の民間交通事業者と連携し首都圏や県内への広報・宣伝



4. 鉄道事業者と連携した奥大和の魅力発信 (20,000千円)

- ⑦ 奥大和地域への旅行商品の造成
- ⑧ 駅構内でのイベント開催
- ⑨ ポスターの駅掲出



Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり (20) 大規模広域防災拠点の整備

R5 予算案 2,633,500千円
債務負担行為 2,000,000千円

ここまで良くなりました

近い将来、「南海トラフ地震」など大規模災害の発生が予想されています。本県だけでなく紀伊半島エリアを広くカバーする防災拠点が無いため、「大規模広域防災拠点」の整備が必要です。

- 導入すべき機能、施設規模などを取りまとめた「奈良県大規模広域防災拠点整備基本計画」を策定 (R3年6月)
- 本拠点を国の南海トラフ地震における応急対策活動に関する計画に位置付け (R4年6月)
- I期・II期の整備に必要なゴルフ場の土地の売買契約を締結
- 災害時に防災拠点としての効果を発揮するため、消防など関係機関と防災拠点の運用に関する会議を実施

もっと良くするために

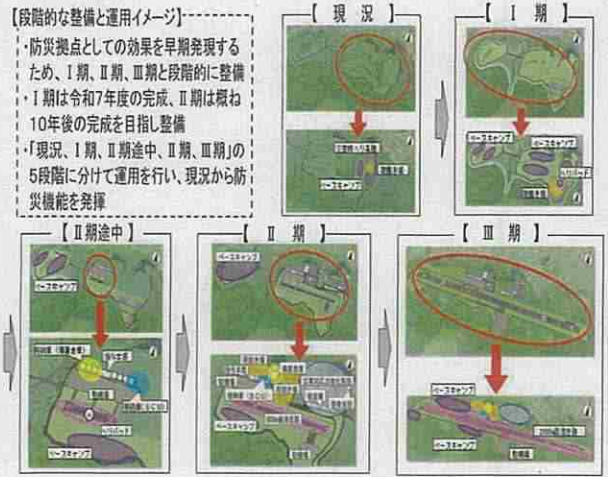
大規模広域防災拠点(2,000m級滑走路付)の早期整備に向けた取組を進めます。

- 用地調査及び交渉を進め、拠点整備に必要な工事用道路等の用地を取得
- 現地測量、地質調査及び実施設計等を進め、I期造成工事等に着手
- 2,000m級滑走路の早期設置に向けた検討
- 京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を經由して国道168号に接続する道路について、現地測量・地質調査等を実施するとともに、新規事業化に向け都市計画手続きを実施

いつ災害が発生しても防災拠点機能を発揮するよう整備段階に応じた運用の具体化に取り組みます。

- 災害時の応援部隊の活動拠点として活用できるよう受入環境整備を検討
- 災害時に現況から直ちに防災拠点として活用するための必要な環境整備、平常時から関係機関による訓練等を実施

【段階的な整備と運用イメージ】
・防災拠点としての効果を早期発現するため、I期、II期、III期と段階的に整備
・I期は令和7年度の完成、II期は概ね10年後の完成を目指し整備
・「現況、I期、II期途中、II期、III期」の5段階に分けて運用を行い、現況から防災機能を発揮



令和5年度予算案 2,634百万円 (債務負担行為 2,000百万円)

1. 大規模広域防災拠点の整備 (2,125,000千円、R6・7債務負担行為 2,000,000千円)

- ① 拠点整備に必要な工事用道路等の用地取得
- ② 現地測量、地質調査、実施設計等を進め、I期造成工事等に着手
- ③ 2,000m級滑走路の早期設置に向けた検討

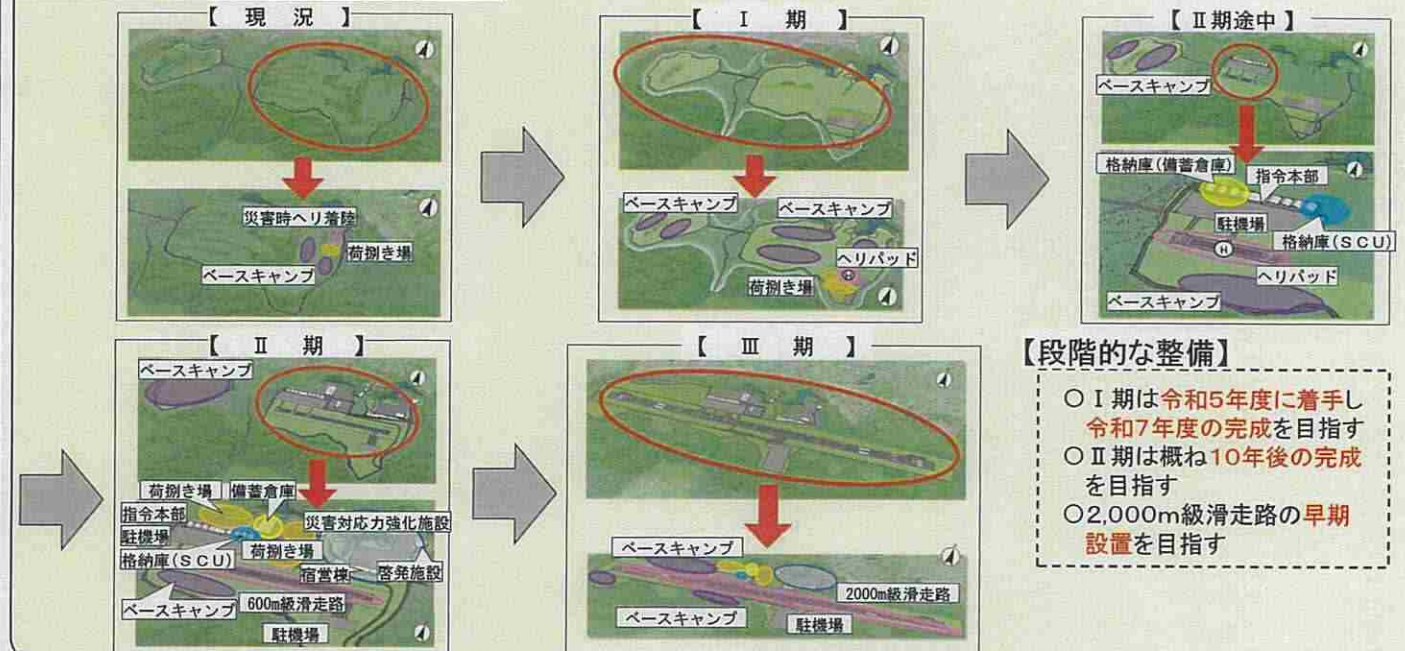
2. 大規模広域防災拠点の整備段階に応じた運用 (404,500千円)

- ④ 災害時の応援部隊の活動拠点としての受入環境を検討
- ⑤ 災害時に現況から直ちに活用するための環境整備、平常時から関係機関による訓練等を実施

3. 京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を經由して国道168号に接続する道路の整備 (104,000千円)

- ⑥ 現地測量・地質調査等
- ⑦ 新規事業化に向けた都市計画手続きを実施

段階的な整備と運用イメージ



【段階的な整備】
○ I期は令和5年度に着手し令和7年度の完成を目指す
○ II期は概ね10年後の完成を目指す
○ 2,000m級滑走路の早期設置を目指す

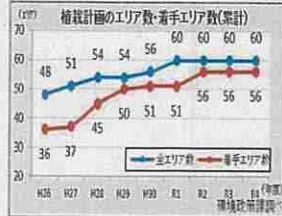
Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (25) なら四季彩の庭づくりの推進

R5 予算案 1,230,923千円

ここまで良くなりました

奈良県植栽計画(平成25年度策定)による取組を、「なら四季彩の庭」づくりの理念に沿って推進してきた結果、策定時から登録エリア数・着手エリア数ともに増加しています。

- 「なら四季彩の庭」作庭方針
- ・県全体で調和のとれた「一つの庭」づくり
 - ・地域の景観資産を生かした庭づくり
 - ・四季折々の彩りの庭づくり
 - ・人が楽しむ庭づくり
 - ・連携・協働による持続的な庭づくり



登録、着手エリアが増加してきた結果、美しい植栽景観を楽しめる箇所も増えています。



もっと良くするために

奈良県を「一つの庭」と見立てた、四季折々の彩りを愉しむ庭づくりに取り組みます。

場所類型に沿った庭づくりを検討し、「なら四季彩の庭」づくりを推進します。

「なら四季彩の庭」づくりを全県的な運動として普及・啓発します。

- 条例化の検討(課題整理等)
- 場所類型別エリア事業の計画策定、実施体制の構築・運営(協働モデルの創出等)

- プレート設置・ジャーナル
- 協定締結団体や地元活動団体の拡充活動支援

【場所類型別の推進方策】

場所類型	主な推進方策
森林・山岳	眺望手前の確保、視点集・散策道整備、環境保全
里山・田園	耕作放棄地・竹林等の適正管理、散策道整備
歴史文化遺産	場の歴史を反映する四季の彩り、視点場の整備
水辺	緑水空間の創出、水辺の彩り、環境保全
まち	高層ビル・花壇・サイン等の整備、新築地等の彩り
人が集う場所	四季の彩り(花の群植)、アメニティー施設の整備



公式Instagramの活用



実践活動支援(花苗等の支援)

引き続き、エリア責任課長(庭師)による庭づくりを推進します。

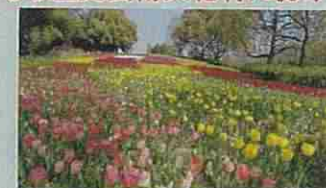
令和5年度予算案 1,231百万円

1. エリア責任課長(庭師)による事業推進(1,199,638千円)

- ①(河川) 河川沿いにおける植栽整備・除草
- ②(道路) 大宮通りにおける植栽整備
主要道路沿道等での植栽整備
景観眺望を阻害している樹木の剪定・伐採
- ③(公園) 馬見丘陵公園におけるチューリップ等による
パノラマ景観の創出、花と親しむイベントの開催
奈良公園の植栽、ナラ枯れ対策等
- ④(施設) 野外活動センターにおける植栽整備、歴史的風土の保存、
新 なら歴史芸術文化村における植栽整備



大宮通りの植栽



馬見丘陵公園の植栽

2. 市町村・地元活動団体等への支援(24,575千円)

- ⑤市町村・地元活動団体等へ「なら四季彩の庭」づくりアドバイザーを派遣
- ⑥市町村が行う植栽整備を支援
- ⑦河川や道路等において地元活動団体等が行う植栽・除草・清掃活動を支援



竹内街道(葛城市)

3. 普及啓発・意識醸成(5,874千円)

- ⑧シンボルマークを使用したプレート設置、ジャーナル発刊、公式Instagramの運営等
- ⑨「なら四季彩の庭」づくりパートナー推進員制度等の運営
- ⑩協定締結団体や地元活動団体に対し花苗等を配布



公式Instagram

4. 庭づくりの検討(836千円)

- ⑪「森林・山岳」、「水辺」など場所類型別の事業計画の検討、実施体制の構築・運営



森林・山岳
(イメージ)



人が集う場
(イメージ)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 8 暮らしやすいまちづくり

(29) 土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用の実現

R5 予算案 32,294千円

ここまで良くなりました

都市・農村・森林が共生できる「新たな土地の管理と利用の仕組み」の構築に向けて、奈良県の今後の土地の管理と利用のあり方とその方向性について検討を進め、**新たな土地の管理と利用の仕組みの基本的な考え方を整理しました。**

○県内で発生している諸課題



住宅と工場の混在

広帯の狭い住宅地



耕作放棄地

経営放棄林

○目指すべき姿

「適正な管理」
周辺住民の生命、身体、財産への危害の発生や、周辺地域の生活環境等への悪影響の発生を防止

「合理的な利用」
地域の価値の維持・向上、地域経済の持続的な発展、県民が安心して快適に暮らすことができる地域社会の実現に資するよう、地域の諸条件に応じて、土地の効用を持続的に発揮

「より効果的な利用」
土地のより高い効用の発揮が見込まれる場合に、若者の雇用やにぎわいの創出等を通じて地域の持続的な発展を実現するため、土地所有者や近隣住民等の協力の下、土地の効用を更に発揮

もっと良くするために

土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用の実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和5年3月に「**土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用により地域経済の発展及び生活の向上を図る条例**」を制定します。

○奈良県版土地白書などによる、土地の管理と利用の状況等の情報発信

○人材育成のための講習会の実施

○相談窓口の設置など、行政と関係機関等が連携して地域を支援する仕組みの構築

○審議会等による土地に関する施策の検証

○地域の実情に応じた都市計画の見直しの実施

○地域の関係者との議論により、土地の管理と利用に関する計画を策定・実行するボトムアップ型の取組の推進



条例の制定により取組を加速

土地の適正な管理、合理的な利用、より効果的な利用の実現



持ちこたえ農土の保全

適正に営農されている農地

適正に管理された森林

美しいまちなみ

暮らしやすいまち

令和5年度予算案 32百万円

令和5年3月「土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用により地域経済の発展及び生活の向上を図る条例」制定予定

1. 新土地の管理と利用 (26,000千円)

(1) 土地の適正な管理と合理的な利用等にかかる情報発信 (8,400千円)

- ① ジャーナルの発行
- ② 各種広報媒体による情報発信 等



市町村向けセミナーイメージ

(2) 人材育成 (4,000千円)

- ③ 市町村向けセミナー 等

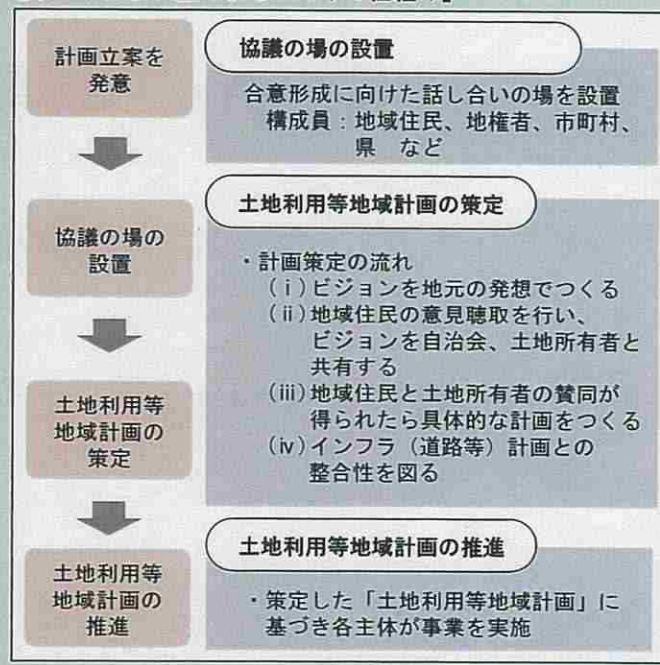
(3) 土地に関する相談体制の整備 (400千円)

- ④ 市町村等と連携して相談窓口を設置・運営
- ⑤ 市町村、関係機関等と協力して、土地所有者等に支援を行う体制を整備 等

(4) ボトムアップ型のまちづくりの推進 (13,200千円)

- ⑥ 地域関係者の参画により土地利用等地域計画を策定・実行する仕組みを構築
- ⑦ 地域が協力して土地利用等を行う取組を拡大するため、先導的事例を創出
- ⑧ 市町村によるボトムアップ型のまちづくりへの支援

【ボトムアップ型のまちづくりの仕組み】



2. 都市計画区域の見直し (6,294千円)

(1) 市街化区域と市街化調整区域との区分の見直し

- ⑨ 区域区分案を作成し、国等と協議

(2) 吉野三町のまちづくりビジョン策定支援

- ⑩ 吉野町三町（吉野町、大淀町、下市町）まちづくり検討会の開催

【事業スケジュール】

R4	○「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」改定
R5	○区域区分見直し（都市計画決定） ○吉野三町まちづくりビジョン策定支援

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (40) アンカールート国道168号の整備

R5 予算案 2,144,150千円
債務負担行為 2,435,000千円
R4・2月補正予算案 139,650千円

ここまで良くなりました

国道168号五條新宮道路が令和4年4月に重要物流道路に指定されました。国道168号の整備促進により、救急搬送時間が短くなりました。

【事業区間(重要物流道路)】

- ①新天辻工区(橋) [事業延長:7.2km]
・設計、用地買収を実施・R4年度から仮設工事を実施
- ②阪本工区(橋) [事業延長:1.4km]
・R2年度から(仮称)阪本トンネルの工事を実施
・R3年2月に(仮称)新阪本橋が完成
- ③長殿道路(橋) [事業延長:2.7km]
・橋梁下部工事を実施
- ④風屋川津・宇宮原工区(橋) [事業延長:6.9km]
・橋梁下部工事を実施
- ⑤十津川道路(Ⅱ期)(橋) [事業延長:5.6km]
・調査・設計を実施・R4年度から用地買収に着手

【全線開通区間】
十津川道路(R1年9月)
辻堂バイパス(H30年3月)
川津道路(H28年3月)



【計画区間(重要物流道路)】

- ⑥五條市生子町～釜窪町(調査路線)(橋) [調査延長:19.6km]
・調査・設計を実施



もっと良くするために

国道168号五條新宮道路の早期整備に取り組みます。

②阪本工区(事業区間(橋))

○トンネル工事、設備工事、道路取付工事を推進



③長殿道路(事業区間(橋))

○用地買収、橋梁下部工事を推進



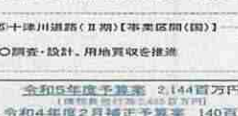
⑤十津川道路(Ⅱ期)(事業区間(橋))

○調査・調査、都市計画手続きを推進



①新天辻工区(事業区間(橋))

○調査・設計、用地買収、仮設工事を推進



令和5年度予算案 2,144百万円
(債務負担行為2,435百万円)
令和4年度2月補正予算案 140百万円

1. 国道168号(五條新宮道路)の整備 (2,040,150千円、R6~7債務負担行為 2,435,000千円 R4・2月補正 139,650千円)

(1) 新天辻工区・阪本工区
(990,150千円、R6~7債務負担行為 2,435,000千円、
R4・2月補正 139,650千円)

新天辻工区 トンネル着手に向けた仮設工事
阪本工区 トンネル照明、設備工事、道路取付工事

⇒ 線形不良区間と冬期の最大難所の回避による
走行性の向上及び安全・安心の確保

(2) 長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路(Ⅱ期)
(1,050,000千円)

長殿道路 用地買収、橋梁下部工事、
トンネル工事
風屋川津・宇宮原工区 用地買収、橋梁下部工事
十津川道路(Ⅱ期) 調査・設計、用地買収

⇒ 崩土等による通行止めリスク低減と線形不良及び
狭隘区間の解消による、安全・安心の確保



阪本工区・(仮称)阪本トンネル(トンネル工事)



長殿道路2号橋(橋梁上部工事)

2. 国道168号のバイパスの整備 (104,000千円)

調査路線(五條市生子町～釜窪町)

測量・調査、都市計画手続き等

⇒ 京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を經由して
国道168号へ接続



五條市生子町～釜窪町(調査路線)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (44) 奈良県の新しい道路整備の仕組

R5 予算案 10,842,119千円
債務負担行為 6,820,000千円
R4・2月補正予算案 2,731,831千円

ここまで良くなってきました

奈良県道路整備基本計画の「道路整備の方針」に基づき、道路整備を進めています。

〇道路は「何のために」つくるのか目的を明確にします。

- ・骨格幹線道路ネットワークの形成
- ・目的志向の道路整備(企業立地、観光振興、安全安心、まちづくり)

〇道路を「どのように」つくるのかプロセスを明確にします。

- ・「選択と集中」の考え方の深化(事業評価の徹底、合理的な予算配分)
- ・プロセスの重視(事業着手前の評価手順の徹底)



<事業着手前の評価手順>

- 1) 必要性の調査
 - ・道路整備の目的と計画の整合性の確認
 - ・市町村長及び議会からの要望の確認 など
- 2) 優先度の判定
 - ・用地買収の確実性(地権者同意確保)
 - ・まちづくり等関連事業の実現可能性 など

目的、必要性、優先度が明確 → 調査路線に決定
これまでに6路線が調査路線に決定し、そのうち2路線が新規事業化(うち1路線は供用済み)
R4年度から新たに4つの調査路線を決定し、調査に着手

- 大和郡山広線 橋原新庄線
- 吉野県吉野線 二見御寺止停車場線

もっと良くするために

新規事業化における評価基準の充実と評価実施のプロセスを徹底します。

〇用地買収の確実性やまちづくり等関連事業の実現可能性、及び事業費の精度向上のため設計の充実や用地権利関係の確認実施など、評価実施プロセスを徹底

「選択と集中」に基づくマネジメントの徹底と、連携・協働により、供用開始に向け機運醸成を継続して実施します。

〇「選択と集中」に基づき、予算・事業のマネジメントを実施

- 1) 予算マネジメントの実施
 - ・骨格幹線道路や主要プロジェクト関連事業への重点投資
 - ・事業進捗、効率性を踏まえた予算配分

- 2) 事業マネジメントの実施
 - ・用地プロセスによる用地取得の進捗管理
 - ・有識者委員会を設置し、用地買収、用地補償の算定を審査
 - ・事業認定手続きを標準化し、必要な箇所に活用

- 3) 利用者への工事内容の周知を実施
 - ・工事内容について、看板の設置等により地域や通行者へ周知
 - ・工事箇所への完成予想図の設置

〇供用目標の宣言を実施

- 1) 供用対象の決定
 - ・開通、改良別に整備効果の早期発現のための基準を策定して決定
- 2) 供用時期の公表を実施
 - ・3年以内供用開始が見込める箇所について、供用時期を公表
- 3) 利用者への供用開始の周知を実施
 - ・供用開始について、看板の設置等により地域や通行者へ周知
 - ・お礼や感謝等のメッセージを伝える

令和5年度予算案 10,842百万円 [債務負担行為6,820百万円]
令和4年度2月補正予算案 2,732百万円

奈良県道路整備基本計画の概要

整備すべき道路のあり方 一何のために・どのような

骨格幹線道路ネットワークの形成

奈良県経済の進展に対応した目的志向の道路整備を推進

安全・安心を支える道路整備を推進

道路整備の進め方 一どのように

「選択と集中」の深化と道路整備の体系化

連携・協働と説明責任

契約・許認可の適正確保と品質向上

「選択と集中」による体系的な道路の整備

(1) 道路・街路の整備

(10,607,119千円、R6～7債務負担行為 6,775,000千円、R4・2月補正 2,731,831千円)

国道168号 小平尾バイパス、王寺道路、香芝王寺道路、新天辻工区、阪本工区

国道169号 御所高取バイパス、高取バイパス

国道308号(宝来ランプ)、国道369号(大保道路)

枚方大和郡山線、天理王寺線、天理環状線、結崎田原本線、桜井吉野線、高野天川線

西九条佐保線、JR関西本線(高架化)、大安寺柏木線、城廻り線、奈良橿原線、畷傍駅前通り線 ほか



国道168号 阪本工区

(2) 道路整備計画の調査・検討

(235,000千円、R6債務負担行為 45,000千円)

国道168号(五條市生子町～釜窪町)

国道169号(下北山村前鬼～上池原)

国道165号(桜井市～三重県境) ほか



国道169号 前鬼～上池原(調査路線)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (45) 円滑な用地買収・用地補償

R5 予算案 1,835千円

ここまで良くなりました

奈良県の地域振興の最大の障壁は全国にどろく用地買収の困難性です。用地買収難航の理由は、ほとんどが高額要求であり、用地買収が全国上位の難しい地域と言われていますが、その改善に努めてきました。

- 公共用地は鑑定価格以上では絶対に買収不可
- 土地取得価格の適正性を確保するため、不動産鑑定士・学識経験者からなる有識者委員会を設置
- 公共用地の取得に係る損失補償価格の適正性を確保するため、弁護士、不動産鑑定士、一級建築士からなる有識者委員会を設置

耕作放棄地には重課制度が適用できます。(通常の農地固定資産税の1.8倍の重課)

- 農業委員会が当該放棄地を中間管理機構に対し貸付(農地として再活用)を協議すべき旨の勧告をした際に重課を適用

もっと良くするために

事業化に際しては、**用地買収の確実性**を確認します。

事業認定手続きを標準化します。

(実績) あみみだん どりがわ
R2 (主)大峯山公園線(天川村洞川)
R3 国道311号(十津川村竹筒)

- 主要プロジェクトについて、進捗度にあわせた完成目標を明確にし、土地収用法に基づく事業認定手続きを標準化、明確化し、必要に応じ、その適用を実施

高額案件等の用地費や補償費の妥当性は、**有識者委員会**を経て判断します。

用地買収体制を強化します。

(実績) R3 16件 R4 13件(予定)

- 用地買収体制の強化と用地担当職員個々の資質向上に取り組むとともに、用地担当職員のモチベーションを上げる仕組みを検討



骨格幹線道路の用地買収の状況
(一村道168号(菅元寺道路)の道路整備)

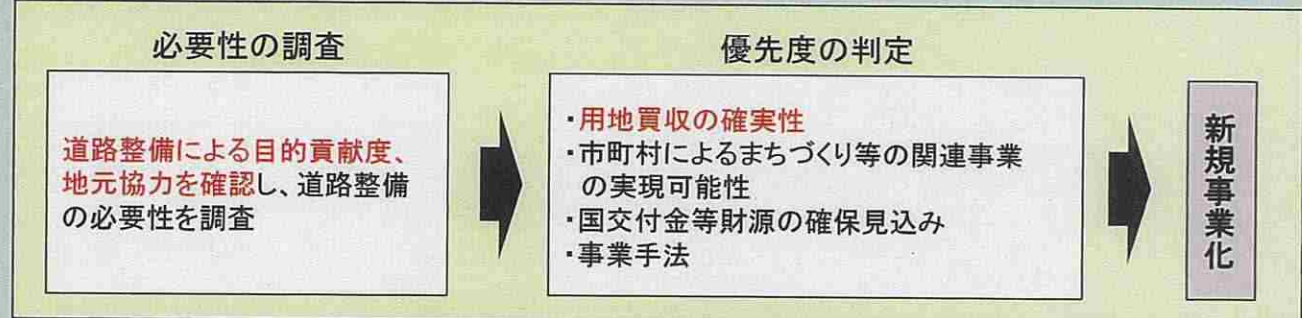


奈良県土木マネジメント部用地事務職員初任者研修

令和5年度予算案 2百万円

1. 新規事業化における評価基準の充実と評価実施プロセスの徹底

① 用地買収の確実性の確認



2. 用地費・補償金算定における適正性の確保 (1,060千円)

② 大規模な事業用地の取得案件等を対象に、**鑑定価格の妥当性**を有識者から意見聴取

③ 高額案件等を対象に、**公共用地の損失補償に関する考え方**や**補償内容の妥当性**を有識者から意見聴取



骨格幹線道路用地買収の状況
(都市計画道路(西九条佐保線)の道路整備)

3. 事業認定手続きを標準化

④ 主要プロジェクトの完成目標にあわせ、**土地収用法に基づく事業認定手続き**を標準化

4. 用地買収体制の強化等 (775千円)

⑤ 用地買収体制の強化と用地担当職員個々の資質向上

⑥ 用地担当職員のモチベーションを上げる仕組みの検討



奈良県土木マネジメント部用地事務初任者研修

IV 便利な「都」をつくる 12 鉄道整備 (46) 大和西大寺駅の高架化・近鉄奈良線の移設

R5 予算案 125,000千円

ここまで良くなりました

令和3年3月に策定した踏切道改良計画に基づき、令和4年度より連続立体交差事業補助調査に着手しています。

○計画の具体化に向け、奈良県・奈良市・近鉄の3者による協議に加え、国にも参加いただく検討会を設置・開催

～H30年 大和西大寺駅西側及び東側の8踏切道が踏切道改良促進法に基づく改良すべき踏切道に指定

R3年3月 県、奈良市、鉄道事業者の3者において大和西大寺駅の高架化、平城宮跡から近鉄奈良線の移設という改良方法を記載した踏切道改良計画を策定し、国土交通省に提出
R3年10月～関係者による検討会の開催(国も参加)

(第1回: R3年10月、第2回: R4年11月)

今後の事業スケジュール、鉄道移設に関する具体的な線路計画等について議論

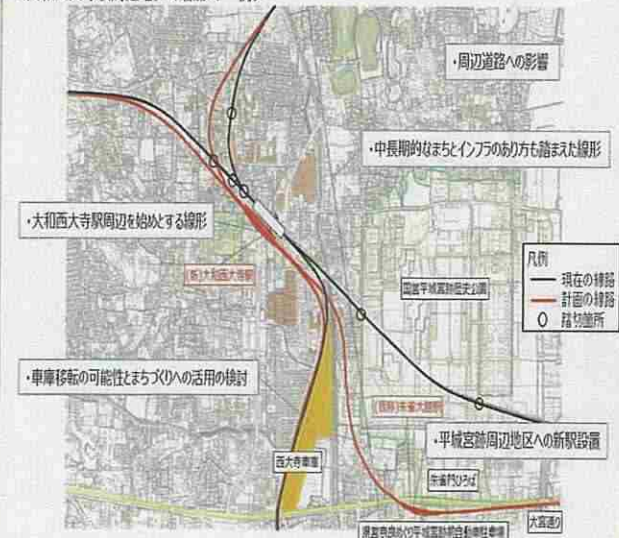
もっと良くするために

早期の事業認可、工事着手に向け、引き続き、連続立体交差事業補助調査を実施します。

○鉄道線形や新駅設置の具体的な検討を推進

○中長期的なまちとインフラのあり方を踏まえた検討を推進

<大和西大寺駅周辺地区の線形の一例>



<R5年度の取組>
鉄道概略設計 ほか

※新駅は別途協議。線形は確定していない。
令和5年度予算案 125百万円

大和西大寺駅高架化・近鉄奈良線移設の具体化に向けた取組

地方踏切道改良計画(令和3年3月)に基づき、鉄道線形や車庫移転の可能性について関係者(県・奈良市・近鉄・国)で構成する検討会において具体化

※国の連続立体交差事業補助調査を活用

【大和西大寺駅周辺地区の線形の一例】



※新駅は別途協議。線形は確定していない。

IV 便利な「都」をつくる 12 鉄道整備 (47) JR新駅の設置と鉄道高架化

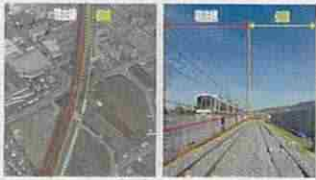
R5 予算案 2,305,640千円
債務負担行為 320,000千円

ここまで良くなりました

JR関西本線高架化工事を進めています。

OR2年度にJR西日本と鉄道高架化に係る工事
施行協定を締結。R3年度から仮線工事を実施。

(仮線工事状況(R4年11月時点))



もっと良くするために

鉄道高架化工事及びJR新駅周辺のまちづくりを推進します。令和10年度のJR新駅の設置と鉄道高架化の完成を目指します。

○京奈和自動車道(仮称)奈良IC整備と新駅による高い交通結節機能を活かした拠点が形成されることから、先進的な都市サービスを提供するまちづくりビジョンを具体化

○奈良市中心市街地とのアクセス性を確保するため、(都)西九条佐保線を整備するとともに、地域分断や踏切事故の解消を図るための鉄道高架化を推進



令和5年度予算案 2,306百万円 (債務負担行為320百万円)

1. (仮称)奈良インターチェンジ周辺の整備 (2,297,640千円、R6債務負担行為 320,000千円)

(1) 西九条佐保線・大安寺柏木線等の道路整備
(1,281,810千円、R6債務負担行為 320,000千円)

用地買収等

(2) JR関西本線の鉄道高架・新駅整備
(1,012,959千円)

鉄道高架化工事

(3) 奈良市実施のJR新駅西口駅前広場整備への支援
(2,871千円)

⇒ 京奈和自動車道(仮称)奈良インターチェンジとJR関西本線新駅を結節し、**周遊性を向上**



位置図



JR関西本線高架(仮線工事)

2. JR新駅周辺のまちづくり (8,000千円)

先進的な都市サービスを提供するまちづくりの検討

- ① **コンソーシアム形式の検討会**で有識者や民間事業者から**アイデアを募集**
- ② **本地区のまちづくりビジョンの具体化**に向けた検討を実施

例: デジタル技術を活用した先進的交通サービス



IV 便利な「都」をつくる 12 鉄道整備

(48) リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線

R5 予算案 45,000千円

ここまで良くなってきました

名古屋・大阪間の環境影響評価手続きが令和5年から開始されることにより、「奈良市附近駅」位置及び県内ルートが事実上、確定します。

リニア中央新幹線と関西国際空港を接続する構想について、調査・検討を実施しました。

○政府の「骨太の方針2022」において、R5年からの環境影響評価手続きを開始する方針が明記

○奈良県期成同盟会や三重・奈良・大阪建設促進大会等を開催し、関係者が一丸となり取り組むことを確認

○「奈良市附近駅」位置及びルートの決定には、以下の6項目が重要な要素

- 〔工事に直接関わる事項〕
- ①用地取得の現実性
- ②発生日活用先の確保
- ③文化財・環境等の配慮事項
- 〔地域が大変な関心を有する事項〕
- ④交通結節性の確保
- ⑤駅周辺のまちづくり
- ⑥地域全体の将来的な発展可能性



府田副知事と京井知事、一見二重県知事との懇話（R4年6月）



もっと良くなるために

2037年(令和19年)のリニア全線開業が迫る中、事実上3箇所に絞り込まれてきた「奈良市附近駅」位置等の早期確定に向け、JR東海など関係者と緊密に連携し、検討を進めます。また、「奈良市附近駅」周辺のまちづくりに関する検討を開始します。

リニア中央新幹線・関西国際空港接続線構想の具体化に向けた検討を進めます。

○在来線や高速道路との結節性を考慮すると、事実上、3箇所が「奈良市附近駅」の重点候補



「奈良市附近駅」の重点候補

<重点候補の主な状況>

- JR平城山駅周辺**
 - ・周辺はニュータウン開発が進行
 - ・JR関西本線と京奈和自動車道に接続可能
 - ・世界遺産等の数多くの文化財に近接
- JR新駅周辺**
 - ・周辺はJR新駅周辺のまちづくり検討エリア
 - ・JR関西本線と京奈和自動車道に接続可能
 - ・世界遺産等の数多くの文化財に近接
- JR関西本線と近鉄橿原線が交差する場所周辺**
 - ・周辺は農地や池が多く存在
 - ・JR関西本線と近鉄橿原線に接続可能
 - ・高速道との接続にはアクセス道路の整備が必要

○リニア駅への直結アクセスと県内高速道路網のボトルネックの解消



令和5年度予算案 45百万円

1. リニア中央新幹線の想定ルート等に関する調査・検討 (2. と合わせて25,000千円)

令和5年の環境影響評価着手に向けた「奈良市附近駅」の位置・県内ルートに関する調査・検討

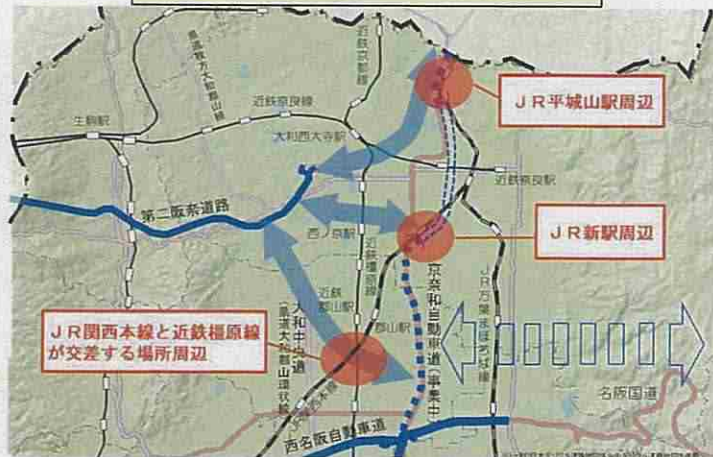
2. リニア中央新幹線・関西国際空港接続線に関する調査・検討 (1. と合わせて25,000千円)

本構想の具体化に向けた在来線改良と新線建設の組み合わせ方式等に関する調査・検討

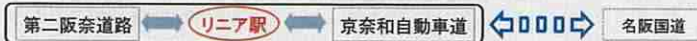
3. 新「奈良市附近駅」周辺のまちづくりに関する調査・検討 (20,000千円)

リニア中間駅の設置効果を最大限に発揮するためのまちづくりに関する調査・検討

「奈良市附近駅」3つの重点候補



リニア駅への直結アクセスと県内高速道路網のボトルネックの解消



リニア中央新幹線・関西国際空港接続線構想

